



(公社)佐倉市シルバー人材センター
ホームページ

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

職場紹介 佐倉草ぶえの丘

五月祭で賑わう草ぶえの丘で、元気な双子とご対面



佐助(左)と
草助(中央)

令和2年に当園の住民となった崖の上のヤギ「ポニョ」が双子を生みました。父「豆の助」と「佐倉草ぶえの丘」にちなんで、市内の小学生により「佐助」そして「草助」と命名され、5月3日に命名式とお披露目がありました。

佐倉草ぶえの丘は、緑豊かな自然の中で農業体験や生き物とのふれあいを通じて、子どもたちに豊かな人間性を育ててほしいと願い、昭和54年(1979)に開園し、世界的にも貴重なバラの原種やオールドローズを中心とした本格的バラ園【ハローシニア佐倉 No.26(2021)】やミニ鉄道、アスレチック、各種の農業収穫体験や陶芸などのものづくり教室が開催されています。



バラの手入れ



ミニ鉄道(トーマス・ドクターイエロー)

佐倉市シルバー人材センターの会員は、シェアハウス・研修棟・ログハウスグループに14名、夜間管理グループに3名、陶芸舎グループに2名、園内清掃グループに3名が、それぞれ就業しています。施設管理他として佐倉市から委託された業務です。

今回は、シェアハウス・研修棟・ログハウスグループの皆さんを紹介します。業務委託の内容は、これらの宿泊施設ご利用後の清掃や夜具などの用具の整頓と補充です。週末や夏休みが繁忙期となり、研修棟2階の宿泊室(25名×8室)は、県内外からの保育園や幼稚園をはじめ、夏休み野外体験教室、部活合宿などの団体による宿泊研修のご利用です。



朝の打合せ



シェアハウスキッチン清掃

シェアハウスは、定員4名の8室(お風呂、お手洗いあり)と共同利用のキッチンと食堂・談話室があり、食材の持ち込みが可能です。ログハウスは一戸建て、キッチンやお風呂などがついており、どちらも家族やグループでのご利用です。

食事場所は、農園食堂「りいど」の他に五月祭などのイベント時や土日祝日開催の「ローズテラス」と古民家(つきたてのお餅販売)があり、第1・第2キャンプ場での自炊やバーベキューも可能です。

研修棟からの退出時には元気にハイタッチで帰途につく子供達。緑の中、子供達の歓声を聞きながらの業務は大変やりがいのある仕事と思われれます。

取材担当/広報委員長 岩淵 功

【問い合わせ】佐倉草ぶえの丘 千葉県佐倉市飯野 820

☎043-485-7821 kusabue@city.sakura.lg.jp http://www.city.sakura.lg.jp/sakura/kusabue/

印旛沼おもしろゼミナール No.2



今年、佐倉ふるさと広場で行われた佐倉チューリップフェスタ2023も盛況裡に終了しました。例年に比べ、観光船の定員数も増え観光船ほどの便も満席。増便で対応する程でした。外国人観光客も増えて、ガイド兼助手としてうれしい限りです。

そのなかで小学生からの印旛沼の質問がありました。「印旛沼は昔から沼だったの? ナウマン象がいたの?」でした。今回、印旛沼おもしろゼミナール2は、この点を説明したいと思います。

取材担当/広報委員 鶴崎 金次

3万年前のナウマン象の化石を発見



佐倉市観光協会から出ている、観光船ガイドの西印旛沼から北印旛沼に繋がる※捷水路(しょうすいろ)の中間地点左側岸にナウマン象発掘地点が記されています。

印旛沼捷水路工事中、約3万年前の化石が発見されました。当時はこの近くまでナウマン象が散歩していたかと思えますとワクワクします。出土したところは、当時、沼だったと考えられています。



※捷水路(しょうすいろ)-河川が弓のように曲がっている部分をまっすぐに直して、洪水を安全に流し下すために削り開かれた人工の水路をいいます。

ナウマン象発掘地点の碑文から



ナウマン象の化石は、1966年(昭和41年)の印旛沼捷水路工事でブルドーザーによる掘削作業中に発見されました。当時日本で頭、胸、足の骨がそろって発見されたのはこれが初めてで、貴重な資料であったため発掘調査が行われ、約3万年前の化石であることが判明しました。

復元されたナウマンゾウは、体高2.17m、体長3.4mで現在のアフリカ象に似ています。この化石があった地層は、以前そこが沼地であり、象が水辺で沼に落ち込んで死んだものと思われ、台地の崖から崩れ落ちた土砂に埋もれてしまったものではないかと考えられています。

平成8年3月 印旛村教育委員会

昔、印旛沼は香取海(かとりうみ)だった



縄文時代中期、千葉県域は「島」に近い状態だったと考えられています。

現在の平野部は海中で、台地や丘陵部の縁が入り組んだ海岸になっていました。千葉県の貝塚の多くが、現在は海岸線から離れた台地上にありますが、当時は思いの外、海に近いところだったといえます。

また、内陸部である現在の利根川流域には、「香取海」という大きな内海が広がっていました。その範囲は、現在の霞ヶ浦・印旛沼・手賀沼の辺りが一つにつながった、とても広いものでした。

「千葉地理学会連載 おもしろ半島ちばの地理再発見」から掲載

2022年度下期 班長会議レポート



志津北地区

開催日時 2023年3月20日(月)午後2時~4時
 場所 ワークプラザ2階会議室
 出席者 班長8名(1名欠席)、SSJC三役3名、
 地区役員3名、合計13名(1名兼任)
 班の構成 全9班

志津地区が北地区と南地区に分かれてから2回目の班長会議です。開会の辞、安全標語の唱和の後、辰巳副地区長の歯切れよく円滑な司会進行と、丁寧で分かり易い下田地区長の説明の下、各班長さんからは様々な多くの意見が出され、活発な意見交換がなされました。

最初の議題の各班からの報告では、ほとんどの班長さんから、班内会員と実際に対面することが難しく、定期便のポスティングに留まっているのが現状との報告がなされました。

センターからの報告では、消費税インボイス制度の開始に伴い、今後発生する膨大な税負担に対しどう対処していくかがセンターの大きな課題であること、また2月までの今期の業績については、昨年を上回り順調であることなどの説明がありました。

次の議題の意見交換では、地域班制度の中で各班長さんに求められていることと、現実とのギャップにご苦労をされている班長さんの姿が印象に残りました。班長さんには班員の就業状況と健康情報の把握が求められているのに反して、いろいろな要因で班長さんの仕事が難しくなっています。長いコロナ禍で人との接触を避ける風潮が広まったこと、清掃ボランティアや地区研修会などセンターの行事が長期間中止を強いられていること、昨今の特殊詐欺対策などのために表札を出さない家が増えていること、更に個人情報保護法により会員の情報取得に制約があることなどに因るものです。会の結論としては、就業状況の情報を活用するなどして、現状の活動範囲の中でできるだけ班員の状況把握に勤め、何かあれば地区長に報告して頂く、ということとなりました。

今年度は清掃ボランティア活動、地区研修会、更にフェスタについても開催を前向きに検討するとのことでした。これらの復活によって班内のコミュニケーションが大きく改善し、各班長さんの悩みが縮小することを期待したいと思います。

取材担当/広報委員 小野寺 弘孝

志津南地区

開催日時 2023年3月24日(金)午後9時30分~11時30分
 場所 西部地域福祉センター
 出席者 班長12名(1名欠席)、SSJC三役3名、
 地区役員3名、合計16名(2名兼務)
 班の構成 全13班

3月24日(金)、志津南地区の班長会議が西部地域福祉センターで開催されました。所用で1名欠席のほかは全員が出席して活発な会議となりました。その様子の一部を紹介します。

いくつかの班から、「ボランティア清掃などが中止となっている。会員の増加がみられたものの、せっかくのニューフェースを紹介する機会がなくて、とても残念！」という報告がありました。

地域班活動の再開を待ちわびる中、「清掃活動等の再開は、くれぐれも医学的データに基づいて決めて欲しい。マスク・アルコール消毒についても貼り紙等で周知徹底して欲しい。」との要望もありました。

会員増が見られる当地区といえども、班長の成り手を探すことは容易ではありません。「新入会員に対し、班長制度についてもっと積極的に説明して欲しい。」との意見も出ました。

定期便の配付は本来、会員の近況(健康面・就業面)把握を兼ねた「対面手渡し」が基本です。現実ほとんどがポスト投函で、手交実態は崩れています。対面コミュニケーションを定期便に求めるのは限界的となっているようです。この背景はコロナ事情とばかりは言い切れず、時代の変化でコミュニケーションの取り方に変化が出ているようにも感じられました。

取材担当/副会長 佐々木 明也



同好会は楽しいですよ!



コロナ禍による制限がこの春より緩和されはじめ、SSJCの同好会にも活動再開の機運が高まっています。そこであらためて、登録されている同好会を一覧表にして紹介します。さらに詳細な情報は、インターネット検索でSSJCのウェブサイトへアクセスしてトップページを画面に表示し、次の手順でタップしてアクセスしてください。

取材担当/徳野 廣一グループリーダー



スマホでアクセス

トップページ画面 → ①メニュー(右上隅黄緑3本線ボタン) → ②活動情報・会員のページ → ③同好会活動 → 同好会の詳細情報が表示



PCでアクセス

トップページ画面 → ①活動情報・会員のページ(黄緑ボタン) → ②同好会活動(黄緑枠のボタン) → 同好会の詳細情報が表示



同好会の一覧表と登録会員数 (令和5年5月1日現在)

| No. | 同好会 | 登録会員 | 活動日 | 活動場所 |
|-----|------------|------|---------------------------------|---------------------------|
| 1 | カラオケ | 15名 | 第3土曜日 | 市役所下 シルク |
| 2 | 佐倉シニアゴルフ | 57名 | コンペ 年4回 | 多古cc・佐倉cc |
| 3 | おどりの会 | 11名 | 第1日曜日 | 志津市民プラザ |
| 4 | 卓球 | 12名 | 第2・第4日曜日 | 志津市民プラザ |
| 5 | 佐倉SC写真 | 22名 | 作品発表 近郊で撮影会年3回 | 佐倉市立美術館 (春・秋) 臼井公民館 |
| 6 | 佐倉グランドゴルフ | 27名 | 毎週火曜日 | 西志津多目的広場 |
| 7 | 俳短柳(俳句・短歌) | 10名 | 奇数月の第4月曜日 | イオン・ミウズ, レインボープラザ |
| 8 | 健康麻雀 | 23名 | 第2・第4木曜日 麻雀大会年2回(夏・冬) | 志津公民館 |
| 9 | 表装 | 10名 | 毎週土曜日 | ワークプラザ |
| 10 | シルバー健康体操 | 17名 | 第2・第4日曜日 | 志津公民館 |
| 11 | 手工芸 | 11名 | 第2・第4土曜日 | ワークプラザ |
| 12 | なごみの会手工芸 | 10名 | 第2・第4水曜日 | 老人憩の家 志津荘 |
| 13 | シルバーファーム | 19名 | 毎週土曜日、 季節により臨時招集 | 小篠塚 |
| 14 | 歌の会 | 22名 | 第2土曜日 佐倉歌謡協会発表会 でステージデビュー | 市役所下 シルク 京成佐倉駅前 味山 |

◆入会に関わる連絡先は、お手数ですが事務局同好会担当者までお問い合わせください。